

## I 事業概要

### 1. 学校部活動の現況・持続可能性について

現在流山市内には、10中学校に約130の部活動があり、約4500人（9割以上）の生徒が活動に参加している。本市中学校の部活動については、生徒が楽しみにしている活動であり、各学校において顧問の指導の下、盛んに活動しており、優秀な成績を収める生徒もいる。一方で、部活動指導については、教員の負担となっており、部活動指導に関する業務を軽減させ、生徒と向き合う時間を確保していくことは、喫緊の課題である。

### 2. 実証事業の実施にあたっての課題

#### 市区町村名：流山市

本市では、部活動指導を支援する取組として、令和元年度より部活動支援事業を展開しており、令和5年度は全10中学校各校の4部活動に外部指導員を配置する予定となっている。しかし、市内全部活動を支援できず、外部指導員の配置時間も限られている。今後、事業を拡大し、市内全部活動を市の財政で継続的に支援し続けることは不可能である。そこで、部活動を学校から切り離し、子どもたちが専門的な指導を受け、より充実した活動とするために、地域の活動としていくことが必要であると考えます。

### 3. 対応方針・取組概要について

#### 市区町村名：流山市

本市では、国県の方針に則り、令和7年度までの3カ年を部活動の地域移行推進期間として、できる限り多くの部活動を地域に移行していく予定である。そのために、民間企業と連携しながら持続可能な地域クラブ活動の体制構築を図っていく必要がある。令和5年度は、地域移行のモデル事業として、市内の既存5部活動を地域クラブとして移行することを目指す。そのためにコーディネーター業務を充実させ、市内全体の受け皿の確保と受け入れ先への助成、指導者の配置等を行う。併せて、指導者育成制度の構築として、指導者資格の付与や研修の実施、コンプライアンスの推進、保険や安全対策等の制度づくりを行う。

### 4. 達成目標およびその検証方法

#### 市区町村名：流山市

##### 【目標】

- ・市内の既存1～2部活動を10月から地域クラブ化する。

##### 【目標の検証方法】

- ・市内の既存1～2部活動を10月から地域クラブ化できたか。

## 5. 実施体制

市区町村名：流山市

【イメージ図】

流山市教育委員会

### 体制の構築 ～持続可能な地域部活動運営を目指して～

#### 仕組み・制度設計

##### <教育委員会の役割>

- 部活動（学校・地域）の在り方を協議
- 学校、コーディネーターとの連絡調整
- コーディネーターへ申し入れ、助言
- 予算措置

##### <コーディネーターの役割>

→地域部活動の運営・人材派遣

- 受け皿の確保・人材バンクの設置
  - ・団体、指導者への助成（一部財源確保を含む）
- 指導者育成制度の構築
  - ・指導者資格の付与
  - ・計画的、定期的な研修の実施
  - ・保険、安全対策、コンプライアンス（事故・トラブル対応を含む）

業務委託

##### 【令和5年度】

休日の部活動を地域へ移行（一部）

例）A中学校テニス部

平日（顧問） / 休日（地域指導者）

※休日はA中学校のコートを使用时、地域指導者のみによる指導

指導監督に加え、大会運営にかかる役員、生徒引率も地域指導者が行う

#### 【地方公共団体内における役割分担】

部署名	関わり方・役割
教育委員会	運営の委託、部活動の在り方の協議、予算措置、学校や関係機関との連絡・調整
首長部局	地域への広報、政策推進

#### 【関係団体一覧】

団体名	関わり方・役割
業務委託先企業	体制構築、地域クラブの運営、受け皿の確保、コーディネート、指導者の研修
スポーツ協会	各競技団体への協力依頼
各スポーツ連盟	各競技の受け皿
財政部局	予算措置
小中体連	総合体育大会・各種スポーツ大会への参加、運営について
校長会	学校との連絡調整